



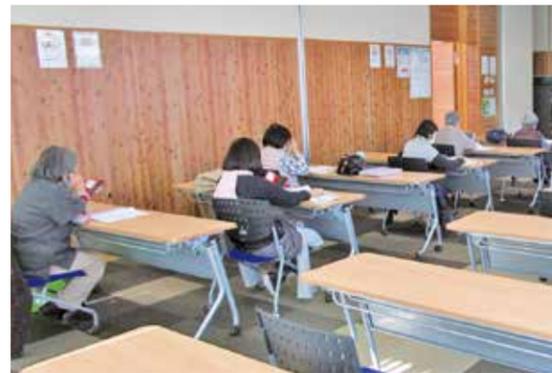
叙勲 瑞宝双光章 幕内岑夫さん

昭和32年に千代田村職員として採用後、平成15年に退職するまでの34年間、千代田町特別職(収入役1期、助役2期)を合わせた46年間にわたり、行政の発展に尽力された功績が認められ受章されました。「この受章は、多くの皆さまからのご指導とご支援のたまものと感謝申し上げます。人生の大半を地方自治やまちづくりに尽くしたことを誇りに思い、支えてくれた職員や家族にも感謝しています」と受章の喜びを話してくれました。



スマホで楽しむ音楽講座

1月17日から5回にわたり、やまゆり館で「スマホで楽しむ音楽」を開催しました。スマホアプリを使った音楽鑑賞や自宅でカラオケをする方法、ラインやメールで音楽をプレゼントする方法などについて解説を受け、操作方法を学んでいました。参加者からは、「アプリの安全な使い方が分かったので、これから安心して音楽を楽しめます」「コロナ禍における自宅での新しい過ごし方を見つけることができました」と感想がありました。



総務大臣表彰 小松崎正衛さん

2月22日、総務大臣から「統計功労者表彰」を受けた小松崎正衛さんが、報告のために市長へ表敬訪問されました。小松崎さんは、国勢調査などを含めた各種調査活動に37年間従事し、社会経済の発展を支える基礎資料の整備に寄与された功績が認められ、表彰されました。「今回の受賞については、地域の皆さまのご協力のおかげです。深く感謝しています」と表彰の喜びを話してくれました。



総務大臣表彰 沼田厚夫さん

2月22日、総務大臣から「統計功労者表彰」を受けた沼田厚夫さんが、報告のために市長へ表敬訪問されました。沼田さんは、国勢調査などを含めた各種調査活動に34年間従事し、社会経済の発展を支える基礎資料の整備に寄与された功績が認められ、表彰されました。「支えてくれた地域の皆さまのご協力により、表彰を受けることができ、感謝しています」と表彰の喜びを話してくれました。



子どもミライ学習

1月と2月に、市立3中学校で「子どもミライ学習新商品プラン発表会」が行われました。中学1年生のワークショップでは、「市の資源を活用した新商品プランを考える」をテーマにオリジナルの商品開発を計画し、商品のネーミングや特徴、適正価格、工夫した点などを紹介するため、グループ毎に分かれて資料を作成しました。

発表会は各学校で実施され、クラスの代表となったグループは、審査員やオブザーバーの前でプレゼンテーションを行い、商品の魅力を存分に伝えていました。審査員やオブザーバーからは、発想の素晴らしさについて称賛されるとともに、実際に商品化する際の課題などについて、アドバイスがありました。生徒たちにとって、商品開発の楽しさと販売の難しさを学ぶ有意義な機会となりました。



【子どもミライ学習とは?】

故郷の魅力や実状を学びながら、地方創生の考え方や地域の取り組みなどを学習するキャリア教育プログラムです。3年間を通じて、地域資源を活かしたものづくりから直接販売体験までの一連の活動を行うことで、郷土を愛し誇りに思う心を育み、未来のまちづくりを考えることができる人材の育成を目指しています。

今回の代表作品

- ①下稲吉中学校
「サクサクッ!なめらか~!
栗も使ったさつまいもモンブラン
Satumanburan」
- ②霞ヶ浦中学校
「トルネード レンコンチップス」
- ③千代田中学校
「マロンプリンタルト」

私たちの学校の活用方法を提案します

2月22日、千代田庁舎で七会小学校6年生による「廃校活用案のプレゼンテーション」が行われました。令和4年3月をもって廃校となる七会小学校を「七会総合リゾート計画」として利活用するアイデアの発表がありました。学校をリゾートホテルに改装し、給食レストランや特産品を使ったスイーツショップ、公園や農業体験施設の整備など、郷土愛あふれる内容に、坪井市長や大山教育長をはじめ、出席者から称賛の声がありました。



手作りひな人形の前で記念撮影

3月2日、やまゆり保育所で女の子の健やかな成長を願う節句「ひなまつり集会」を行いました。ホールに子どもたちが作ったおひなさまが並べられ、色鮮やかなひな壇が出来上がりました。ひなまつりの由来について教えてもらい、職員が五人囃子や三人官女などのそれぞれの役割を演じながら解説をすると、子どもたちは興味津々で話を聞いていました。最後に、ひな壇の前で記念撮影を行い、ひなまつりの素敵な思い出となりました。

